



3Rで未来のために リデュース！リユース！リサイクル！

リサイクル通信 vol.1

令和3年5月号

【発行】鳥栖・三養基西部環境施設組合

〒849-0102 みやき町大字簗原 4372 番地

リサイクルプラザでは3R活動を推進しています

これは、ごみによる環境への負荷を低減するため、ごみの発生抑制 (Reduce)、再使用 (Reuse)、再生利用 (Recycle) の3Rを進めるものです。

とくに、ごみになる前の段階で、不要なものを生じさせない取り組みが大切です。あなたが、どれだけエコライフを実践しているか確認するために日々の生活をチェックしてみましょう！

今まで自分では気づかなかった取組ができるかもしれません。今一度考えてみましょう。



鳥栖・三養基西部リサイクルプラザ

エコライフチェック項目

- シャンプーや洗剤などは、詰め替え用の商品を選びます
- レジ袋は断り、マイバッグを使います
- 必要なものを必要な量だけ買います
- 長く使えるものを選びます
- 過剰包装や使い捨て商品の購入を控えます
- 自治体のごみ出しルールをきちんと守ります
- 道具、家具などは壊れたらすぐに捨てずに、修理して長く使います
- リサイクル工房やフリーマーケットを活用し、再使用(リユース)に努めます
- ごみを道端で捨てることなどはしません
- エコマークがついた再生原料使用製品などの環境に配慮した製品を選びます

いかがでしたか、気づかないうちに無駄にしたり、自然環境に負荷をかけていることはありませんか。

家庭で不要になったものを分別してごみに出すことで、それが資源となり新たな製品に生まれ変わります。またリサイクル品が使用されることで、資源の無駄遣いが防げます。「分ければ資源、混ぜればごみ」という認識を持ってきちんと分別しましょう。

モバイルバッテリーや電池が取り外せない製品は「乾電池」として分別を

危険

「不燃ごみ」に混入された電池類により、ごみ処理施設での火災が多発しています。最近、当組合のリサイクルプラザでもリチウム電池による発火が起きています。

電池類を「不燃ごみ」で出されると、処理過程の衝撃でショートし火災につながります。必ず「乾電池」として分別してください。

ごみとして出すときは「乾電池」として分別してください。

●モバイルバッテリーなど
スマホの充電用電池など

●充電式の家電製品の取り外せる電池
リチウムイオン電池、ボタン電池など
(家電製品は必ず電池を外してください)

●充電式の家電製品でバッテリーが取り外せないもの
加熱式たばこ、電動歯ブラシ、電気シェーバー、
スマートフォンなど



乾電池に分別

注意：乾電池やモバイルバッテリーは不燃ごみで出さないでください。



(リチウムイオン電池による発火とみられるごみ：リサイクルプラザ内)

新型コロナで在宅時間が長くなり、家庭用ゲームの使用が増えるとともに、使用済み電池の排出量が多くなっています。小さなバッテリーでも、燃えやすいプラスチック製品の中に使われていることが多く、大きな発火につながります。

ごみの減量化に対する取り組みは組合ホームページ <http://www.3r-manabi.com/>

から確認できます。

問合せ先 鳥栖・三養基西部環境施設組合

☎ 0942-94-9313 e-mail: tosu-miyakiseibu@3r-manabi.jp

